



令和4年度
森林・山村多面的機能
発揮対策交付金
活動事例集

林野庁

目次

掲載団体一覧	2
掲載団体活動所在地	3
活動事例	4
1 標津の森を守る会（北海道標津町）	4
『町と連携した関係人口の拡大と地域の活性化』	
2 かみかわ里山ネット（北海道旭川市）	6
『生物多様性が高く蓄積量の多い混交林への誘導』	
3 五日市里山を考える会（岩手県八幡平市）	8
『里山環境の保全で得られる森の恵みの活用推進』	
4 枝郷地域づくり会「さとやま・ま森隊」（秋田県大仙市）	10
『安全を最優先に未経験者でも楽しく』	
5 細野の山を愛する会（山形県尾花沢市）	12
『森林資源を活かして、交流人口を拡大』	
6 NPO 法人 馬頭農村塾（栃木県那珂川町）	14
『都市部の大学・団体との連携が関係人口を増やす』	
7 NPO 法人 自遊クラブ（神奈川県相模原市）	16
『連携と協働で活動の幅を広げる』	
8 NPO 法人 ぎふし森守クラブ（岐阜県岐阜市）	18
『地域の野生の生きものを守る森づくりを通じた森林環境教育』	
9 猪之頭振興協議会（静岡県富士宮市）	20
『森づくりで生まれる企業や地域外住民とのつながり』	
10 三ツ口山を守る会（三重県熊野市）	22
『「100年の森づくり」の地道な取組でよみがえる山の豊かさ』	
11 五名里山を守る会（香川県東かがわ市）	24
『先人の里山づくりの復活が移住者増を後押し』	
12 赤坂竹林整備組合（福岡県福岡市）	26
『荒廃竹林を国産ブランドの生産フィールドに』	
13 TAKE NO EN（長崎県長崎市）	28
『竹林整備活動を通して広がるコミュニティ』	
14 上松山区（熊本県宇土市）	30
『安心して楽しく散策できる里山の環境を取り戻す』	

掲載団体一覧

No.	活動組織名(活動地域)	活動タイプ					活動の工夫点				
		里山	竹林	資源	機能	関係	自治体・企業連携	情報発信	森林作業安全対策	関係人口交流人口	生物多様性の保全
1	標津の森を守る会 (北海道標津町)			●	●		●	●		●	●
2	かみかわ里山ネット (北海道旭川市)	●		●		●				●	●
3	五日市里山を考える会 (岩手県八幡平市)			●			●	●		●	●
4	枝郷地域づくり会「さとやま・ま森隊」 (秋田県大仙市)	●					●	●	●		
5	細野の山を愛する会 (山形県尾花沢市)	●			●	●	●			●	●
6	NPO 法人 馬頭農村塾 (栃木県那珂川町)	●			●	●	●			●	●
7	NPO 法人 自遊クラブ (神奈川県相模原市)	●					●			●	●
8	NPO法人 ぎふし森守クラブ (岐阜県岐阜市)	●	●				●		●		●
9	猪之頭振興協議会 (静岡県富士宮市)			●			●			●	
10	三ツ口山を守る会 (三重県熊野市)	●								●	●
11	五名里山を守る会 (香川県東かがわ市)			●			●	●		●	
12	赤坂竹林整備組合 (福岡県福岡市早良区)			●			●	●			
13	TAKE NO EN (長崎県長崎市)		●			●		●	●	●	
14	上松山区 (熊本県宇土市)	●	●		●		●	●		●	●

掲載団体活動所在地



かみまつやまく
上松山区

「上松山区」は、宇土市上松山区の約1,000世帯規模の自治会が組織する地縁団体で、平成5年に発足しました。里山の原風景を取り戻す活動を行う地元の組織「五色山ふれあいの会」と連携し、五色山の保全に取り組んでいます。

活動地域：熊本県宇土市

上松山区事務局

TEL: 0964-22-1194 Email: musasi661214@osu.bbq.jp
(五色山ふれあい会事務局)

TEL: 0964-22-4309 FAX: 0964-22-4309

<https://www.gosikiyama-fureaikai.com/>



活動の概要

『安心して楽しく散策できる里山の環境を取り戻す』

上松山区の東に位置する「五色山」は、戦後、化石燃料の利用拡大に伴い、薪などの採取のために山に入る機会が減ったことで、里山の荒廃が進み獣害への懸念が高まりました。こうしたことから、地区の地縁団体「上松山区」は、里山の原風景の回復に取り組む「五色山ふれあいの会」と連携し、五色山の広域的な保全体制を構築することにし

ました。森林の多面的機能が十分に発揮されるかつての里山の環境を取り戻すため、除伐、侵入竹の伐採、枯れ竹の除去といった森林管理を行うほか、人々が安心して楽しく散策できる「木漏れ日」の森づくりを目指して、森林内の光環境や景観の改善、里道の修復・復元等を通じて、有害獣の定着抑制にも役立つような環境づくりに取り組んでいます。

特徴的な取組

➤ 地区全体で活動を支援

「上松山区」は、上松山区に暮らす子育て世代からシルバー世代までの幅広い住民を基本メンバーとする地縁団体です。森林整備実働部隊として活動の核をなす会員 53 名のほか、地区住民の多くが名を連ねる協賛会員 500 名で五色山を守る取組を支えています。



イノシシ防止柵設置作業

➤ 宇土市への働きかけ

熊本地震の翌年の平成 29 年、活動地区の多面的な機能の向上に向けて、「五色山総合公園構想」を独自に策定しました。宇土市に対し同構想の推進を提言したところ、五色山グラウンドが市の防災避難場所に指定されることになりました。五色山の自然公園化に向けて、同構想に基づく整備方針(案)を今年度中にとりまとめ、市に提示する予定です。

他の活動組織でもできる工夫点

- 地区内住民の理解を促し、市との連携を模索するため、活動の意義や構想、計画等を明文化
- 地区広報誌「上松山区だより ごしき」(毎月発行)における活動状況・成果等の共有
- 情報発信ツールとしてホームページを開設(令和2年)し「上松山区月報」(バックナンバーも閲覧可)や地区活動報告(動画含む)等を掲載

活動の成果

▶ 人々が楽しめる里山環境の保全・回復

遊歩道の整備や維持管理作業、林内の中高木の除伐等を行ったことで、木漏れ日の中、五色山の里山景観を安全に楽しく散策してもらえる環境が整いました。また活動を通じて、五色山山頂付近の展望が確保されたことも、来訪者誘致の大きな要素となっています。



みはらしが丘からの眺望

「木漏れ日」の森の里道と散策を楽しむ人々

▶ 獣害の抑制

鬱蒼とした林床の除伐、イノシシ侵入防止柵の設置が功を奏し、イノシシ等の出現が減り、有害鳥獣の定着が抑制できました。



活動上の課題、その対応策

- 計画的、効率的に事業を推進するために、①毎月1回役員会（推進委員会：委員10名）を開催し実施状況・課題・今後の計画を協議し、②事業の予算執行年間計画をメニュー別に作成し執行状況点検調整し、③始業前の集合写真撮影後、当日の作業説明と作業の危険防止について注意喚起を行った。
- 区民の協力と支援体制を構築するために、区民との共通認識を深める目的で、①事業の実施状況を区の広報誌（毎月1回全世帯配布）にほぼ毎回掲載し、②週3回の定例作業日には有線放送で作業参加を呼び掛け、③五色山の「自然公園構想と整備方針」を策定し全世帯に配布予定。



一言： こうして乗り越えている！

迷ったら一步前進。やってみらんと分からん。どがんしょうか、て尻込みしとつてもなんも変わらんけんです。一步踏み出すと道が開けるかもしれない。そういう気持ちで日々活動しています。

上松山区だより「ごしき」の五色山保全活動報告

今後の展望

- 会員の高齢化による活動上の制約を補完し、活動の継続を可能にするため、令和5年度より上松山区住民を主体とする「上松山区里山保全隊」を新たに結成。
- 若い世代の理解・参画を促すため、地区広報誌やホームページ等を活用し活動の発信をさらに充実。
- 散策路の整備・維持管理を通じて、市内の小中学校に安心・安全な遠足や環境教育の場を提供。

令和4年度

森林・山村多面的機能発揮対策交付金 活動事例集

発行 林野庁

作成 公益財団法人 日本生態系協会